

土砂災害に係るコミュニティタイムラインの作成について

◆経緯

本市には、大阪府内の土砂災害計画区域のうち約20%が存在し、市民への災害リスクの示し方、理解度の向上を推進することで避難の重要性を伝えることが課題である。このようなことから、令和4年度より、3Dハザードマップ等を用いた危険性の周知やワークショップによる過去の災害情報や教訓をもとにコミュニティタイムラインを策定している。

◆内容

作成地域の自治会代表者の方に集まっていたいただきワークショップを開催し、ハザードマップで危険箇所を確認しながら地域の特性など意見を出し合った。ワークショップ後、素案を作成し、各自治会と確認作業を行い、コミュニティタイムラインを完成した。

◆効果

地域住民主体のワークショップを実施し、意見を出し合うことで防災意識の向上につながり、地域同士の連携強化にもつながった。また、災害における地域の特性などを話し合うことで取るべき避難行動を確認することができた。
作成したタイムラインに「マイ・タイムライン」の欄を作り、事前の準備や避難のタイミングについて住民一人ひとりがどのように、行動するべきかを考えていただく機会にもなった。

時系列	気象情報と避難情報	天野地区 コミュニティタイムライン		マイタイムライン	
		地域や各家庭で取り組むこと		我が家の決まり事を書いておこう	
1週間前	○台風が発生し、いつ頃影響が出るかが分かるころです。影響がありそうなら、準備を始めましょう。 ○今のところ影響はなさそうでも今後の気象情報に注意しておきましょう。	☐ 台風予報を確認する ☐ 非常持ち出し品や備蓄品の確認をする ☐	☐ 家族全員の予定を確認する ☐ 薬を病院に受け取りに行く ☐		
	○天気予報などから、台風などの影響があるかが分かってきます。 ○「避難するなら」と考えて、準備を始めましょう。	☐ 台風(大雨)情報を確認する ☐ 家族や知人などと避難について話してみる ☐ 避難するときの持ち出し品を準備する ☐	☐ 車で避難する場合は燃料を補充する ☐ 安全な場所の親族・知人宅に避難する場合は連絡しておく ☐		
前日	○気象台がニュースなどで発表するレベル レベル2	○左のレベルに応じて市が情報を発信します。 【無線放送、HP、SNS、災害テレホン案内、テレビなど】 ☐ 台風(大雨)情報をこまめに確認し、避難の準備をする ☐ 河内長野市や気象台などからの災害情報を確認する(SNS、HP、テレビ、ラジオなど) ☐	☐ 川の水位を確認する(HPなど) ☐ ☐ ☐		
当日	レベル3	高齢者等避難	☐ 高齢者など避難に時間を要する方は避難を開始する ☐ 雨や風がひどくなる前や暗くなる前に避難する ☐	☐ 開設している避難所を確認する (災害テレホン案内0120-047-714) ☐	
	レベル4	避難指示	☐ 速やかに全員避難する ☐ 近所の方にも避難の呼びかけを ☐	☐ 家族などに避難完了の連絡をする ☐	
	レベル5	緊急安全確保	☐ 直ちに安全確保 ☐ ☐	☐ 逃げ遅れたら自宅や建物の中でも安全な場所に避難する ☐	